

# 第19回通常総会が4年振りにリアルで開催されました

9月27日(水)16時から、協同組合JASMEQの第19回通常総会を茗荷谷の茗溪館にて開催いたしました。この間コロナ禍でWebやハイブリッド開催でしたので、リアル開催は4年振りです。今回は久しぶりとあって多くの組合員の方にご出席いただきました。また賛助会員の方にもご参加いただきありがとうございました。議案は全て可決承認されました。

## 第1号議案

令和4年度(2022年度)事業報告書及び決算関係書類承認の件

第2号議案 令和5年度(2023年)事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件

第3号議案 令和5年度(2023年度)借入金残高の最高限度額決定の件

第4号議案 役員報酬決定の件

第5号議案 定款一部変更の件

①第3条 地区について 京都府を加えました

②第8条 組合員の資格について 野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業、茶・コーヒー製造業(清涼飲料を除く)を加えました。

新規加入組合員 株式会社大安(京つけもの製造)

株式会社山英(お茶製造)

第6号議案 定款変更認可申請における字句の一部修正委任の件

第7号議案 理事及び監事選挙の件

全ての議案が可決承認されました。新役員は以下のとおり。

理事 梶俊夫 三澤孝道 平田繁實 井上文喜 山崎晃裕 網谷征己

田中久夫 小野章男

監事 岩井菊之 長谷川雅人

協同組合 JASMEQ

第42号

発行日 2023/11/1

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-3-4

出光新宿ビル 4F

Tel :03-6205-6677

Fax:03-6457-6759

最寄駅

副都心線 東新宿駅より徒歩5分

// 西早稲田駅より徒歩5分

発行責任者

専務理事

田中 久夫



## 理事会から (第19期)

(第19期)

第6回(2023年9月8日ハイブリッドによる開催)

第1号議案

第19回通常総会の招集及び議案の件

第2号議案 第18期報告書(事業報告書及び決算関係書類)及び議案承認の件

第3号議案 組合員加入の件

第4号議案 賛助会員加入の件

財務状況、商品供給事業、品質・衛生管理サポート事業、一般業務等について、報告された。

(第20期)

第1回(2023年9月27日)

第1号議案

代表理事(理事長)、副理事長、及び専務理事、常務理事選任の件

代表理事には引き続き、梶俊夫理事が選任されました。

第2号議案

第20期(2023年度)役員報酬決定の件

◆次回第20期第2回の理事会は、2023年11月16日に開催予定です。



司会の小野常務



議長の梶理事長



田中専務の議案説明



岩井監事の監査報告

総会終了後には「梶俊夫さんの受章をお祝いする会」が開催され、多くの方にご出席いただきました。

今回の「お祝いする会」は、下山さん、三澤さん、畑山さん、大信さんが呼び掛け人となり開催されました。パルシステム関係の仲間たち総勢52名が駆け付けてお祝いをいたしました。

改めて梶さんの長年の功績を称え、テーブル毎に一緒に写真撮影をいたしました。

コロナ禍でなかなかお会いできなかったのが、久しぶりに皆さんで集まり梶さんのお祝いができて、とても楽しい時間を過ごすことができました。

本当におめでとうございます。



## 第42回WEBセミナー

総合テーマ「みんなでいいもの作ろうよ」全3回シリーズ  
第一回「食品工場での身の回りの衛生管理」を開催しました



監物



中村

- 日時: 2023年9月29日(金) 14:00~15:30
- テーマ: 「食品工場での身の回りの衛生管理」
- 講師: 公益社団法人日本食品衛生協会 食品衛生研究所 化学試験部  
太田 敬司 部長代理
- 参加者: 37社・生協 64名

今回も、現場に働く従業員やその管理者向けに、やさしく理解しやすい内容の企画として3回のシリーズでセミナーを企画しました。衛生管理の基礎の話をやさしく説明していただく予定です。

第1回目として『身の回りの衛生管理』: ①いいかげんな手洗い、②身だしなみが悪い、③食品の取り扱いが悪い、これらが原因で食中毒が発生します。何気ない行動が異物混入につながる場合があります日頃の生活の中で、よくある事例を紹介しながら、食中毒の予防と、製造現場の品質の向上のためのヒントをお話しくださしました。

### <学習の概要>

#### 1. 食品工場にとっての食中毒とは

(おこしたら、取り返しがつかない)

- ・ノロウイルス感染経路・トイレを起点とする汚染拡大
- ・ウエルシュ食中毒発生のメカニズム
- ・「弁当」から黄色ブドウ球菌、セレウス菌

#### 2. 食中毒を防ぐためには

(ひとりひとりの衛生管理が大事)

- ・細菌性食中毒の三原則
- ・ウイルス性食中毒の四原則
- ・あなたの職場の「衛生」レベルは  
「衛生意識の一番低い人が決める!」「衛生管理ができていない項目で決まる!」

#### 3. 身の回りの衛生管理=おもいやり?

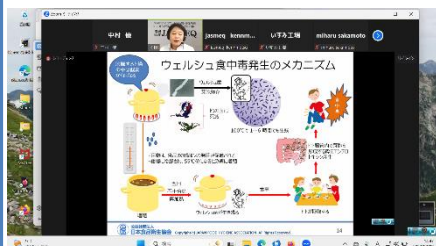
「これって・・・かもしれない。」「そうならないよう・・・しよう。」

- ① 他人ごとではない、② 家族、職場、人の集うところ、③ 誰かひとりの行動がすべてに影響する、④ 気付いた人が行動する、⑤ それはじつは「HACCP(ハサップ)」に通じる。

### <アンケートの抜粋>

- 1、従業員教育のコツやテーマについて、もう少し具体的に聞きたかった。
- 2、ノロウイルスの感染力の強さ、多様な感染経路よりその脅威を以前より感じている。
- 3、具体的な例などを出て、大変わかりやすかった。
- 4、こんな風に取り組んだらいい、の例示が欲しかった。後半駆け足で残念でした。
- 5、とてもわかりやすかった。従業員対象の教育訓練で参考にします。
- 6、各菌の説明や対策の説明がありとてもわかりやすかった。
- 7、過去の事例や再発防止策の事例案件があれば聞いてみたいと思いました。
- 8、食中毒菌の種類、また危険性について知ることができた。手洗いの重要性について、作業が変わる、汚れているものに触れた後に手洗いできているか、ひとりひとりの衛生管理が重要であること。衛生面についても意識を高めるために意見交換し、同一レベルにすることが必要。

編集後記: 貴重なご意見、2回目以降で参考にして運営していきます。



「食中毒発生メカニズム」について



太田部長代理の「身の回りの衛生管理」について



監物顧問



# おすすめ商品の紹介

ぜひご利用下さい(^\_-)☆



内山

9種の漬物を食べきりサイズで。

京都大安・ちいさなだいやす  
269 3,750円 (税込4,050円)

味しぼ漬 24g × 2個、味すくき 24g × 2個、しその実漬 24g × 2個、竹の子しぐれ 18g × 2個、ふくしん漬 26g × 1個、ねごぼう 18g × 2個、青しそ漬瓜 24g × 2個、お茶漬胡瓜 24g × 1個、丹波大豆本締め 18g × 1個計9種15個  
賞味 123日 50℃未満・豆

ちよつとずつ、いろいろと楽しめる食べきりサイズのお漬物詰合せです。常温で保存でき、便利です。

ひと口ごとに果汁と香りが広がる名店の味。

京橋千疋屋・果物ゼリー  
601 5,180円 (税込5,594円)

白桃ゼリー95g × 2個、ピーチゼリー、ラ・フランスゼリー、フルーツ専門店「京橋千疋屋」の5種類ゼリーセットです。果肉感がたっぷり味わえます。

パルシステム【冬ギフト】京都大安・ちいさなだいやす  
老舗漬物店(大安)より、いろいろ楽しめる食べきりサイズのお漬物の詰合せ。常温保存で便利。

パルシステム【冬ギフト】京橋千疋屋・果物ゼリー  
京橋千疋屋で人気のゼリー、「白桃」「ラ・フランス」「黄金桃」「林檎」「ピーチ」、5種6個のセット

(パルシステムカタログから転用しました)

# 時の話題 その22

## イスラエルとパレスチナ問題について

イスラエルとパレスチナ自治区ガザを支配するイスラム組織ハマスの軍事衝突は大きな犠牲がでており、深刻さを増しています。なぜ対立しているのか歴史を振り返ります。

イスラエルとパレスチナの対立には長い歴史があります。イスラエルには主にユダヤ人が住んでいてユダヤ教を信仰しています。パレスチナ自治区はガザ地区とヨルダン川西岸に分かれて、主にアラブ人が住み、イスラム教徒が多いです。

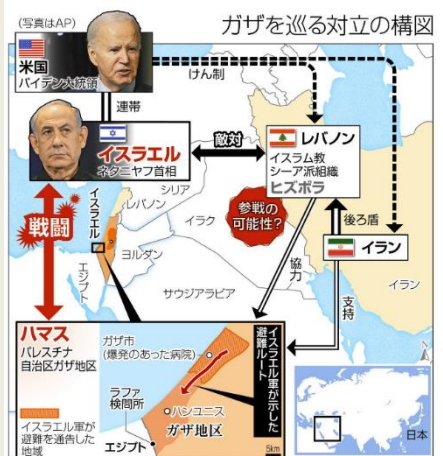
「エルサレム」はイスラム教、キリスト教、ユダヤ教の聖地として宗教上非常に重要な場所です。それぞれの宗教にとって重要な地域だからこそ争いが繰り返されてきました。もともとユダヤ人が住んでいましたが、ローマ帝国が勢力を伸ばし、この土地を追われ、アラブ人が住むようになりました。散り散りになったユダヤ人たちは、ヨーロッパ各地で差別や迫害に遭い、19世紀頃には「祖先の地に自分たちの国を作ろう」という運動を始めました。

1947年、パレスチナの地を、ユダヤ人とアラブ人それぞれが住める地域に分割しようと、国連で採択されました。1948年にはユダヤ人たちがイスラエルを建国しました。しかしこの建国により、アラブ人(パレスチナ人)が故郷を追われることになり、ガザ地区やヨルダン川西岸に逃れました。このイスラエル建国とそれに反対するアラブ諸国などの戦い、すなわち中東戦争が4回行われました。そのたびにパレスチナの人々が住むエリアが小さくなり行き場のない多くの人が「パレスチナ難民」となりました。

このような状況を受け1993年に「オスロ合意」と呼ばれる歴史的な和平合意が結ばれ、イスラエルとパレスチナがお互いに認め合い「パレスチナ人の暫定自治をガザ地区とヨルダン川西岸で始める」というものでした。

ガザ地区を2007年から支配しているのがイスラム組織「ハマス」です。ハマスは自爆テロなどを繰り返してきたため、「テロ組織」とみられています。ただ、「ガザ地区の住民」イコール「ハマス」ではありません。

10月にはハマスがイスラエルを攻撃し、200人近い人を拉致して人質として連れ去りました。それを受けて今度はイスラエルがガザ地区を空爆しています。また、水、食料、燃料、医療物資を遮断しています。現在までに犠牲者は合わせて8400名以上となり、多くの子ども達も犠牲になっています。いったいいつまでこの戦争は続くのでしょうか？



東京新聞より

- イスラエルとパレスチナを巡る主な出来事
- 1947年 国連総会でパレスチナ分割決議
  - 1948年 イスラエル建国宣言 第1次中東戦争
  - 1956年 第2次中東戦争
  - 1967年 第3次中東戦争
  - 1973年 第4次中東戦争 第1次オイルショック
  - 1987年 インティファダ(反イスラエル闘争) ハマス設立
  - 1993年 イスラエルとパレスチナ解放機構がオスロ合意
  - 2000年 第2次インティファダ
  - 2005年 イスラエルがガザ地区から撤退
  - 2007年 ハマスがガザ地区を制圧
  - 2008年～イスラエルとパレスチナが断続的に衝突
  - 2023年 ハマスがイスラエルを大規模攻撃

ロシアのウクライナ侵攻も収まらないまま、今度はまた別の戦争が始まってしまいました。今後第三次世界大戦が勃発しないことを祈ります。



坂本

第2回目は(株)ささかみさんです

株式会社ささかみさんはJASMEQ設立当初より賛助会員に加入していただいています。JA新潟かがやき、パルシステム連合会、エコファームささかみ、共生食品で構成されています。ささかみの大豆とお水で作られたブロー豆腐「うめてば豆腐」はパルシステム連合会に届けられています。なめらかな口当たりの中にしっかりとした大豆の風味が感じられるお豆腐です。充てん製法により日持ちが良く、買い置きにもぴったりです。



うめてばとうふ

所在地: 阿賀野市村杉  
 設立: 2002年2月  
 代表者: 安中裕明  
 社員数: 12名  
 事業内容: 豆腐製造・体験教室運営、宿泊施設運営

2023  
商品展示会

コロナ禍でしばらく開催していなかった商品展示会も、今年は各単協で開催されることとなりました。JASMEQでは5つの商品展示会に出店いたします。



小野

- 10/7(土)パルシステム福島 アクティ卸町  
 試食 産直カットわかめ 淡路島明石海峡産天然カットわかめ  
 ママのじゃむこはくレモン 仙台みそ焼きしそ巻  
 展示 鳴門産乾燥カットきわかめ ママのじゃむ AREREnoRE
- 10/22(日)パルシステム千葉 ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム  
 試食 飛鳥のあんまん 飛鳥の手作りミニ肉まん
- 10/28(土)パルシステム群馬 ビエント高崎「ビッグキューブ」  
 試食 産直カットわかめ 淡路島明石海峡産天然カットわかめ  
 掛川深蒸し茶・三角ティーバッグ 深蒸し掛川茶  
 緑茶とレモンのオーガニックティー  
 有機・黒いドライフルーツミックス 有機胡麻柚子ドレッシング
- 展示 鳴門産乾燥カットきわかめ 広島県産有機割干し大根  
 国産みつば 春の七草 ARAREnoRE
- 11/5(日)パルシステム新潟 産業振興文化センター
- 11/25(土)パルシステム神奈川 パシフィコ横浜



展示会の様子



編/集/後/記

広報紙『JASMEQ』第42号をお届けします。  
 ホームページもぜひご覧ください。

ことしも「中小企業団体全国大会」に参加させていただきました。  
 第75回となった今回は、杜の都・仙台での開催です。会場は、大震災後に建てられたという、  
 仙台城址公園内の「仙台国際センター」展示棟でした。全国から約2,000人の参加と。  
 つながる ひろげる 連携の架け橋  
 困難にチャレンジ! 未来の創造・地球との共生  
 ~仲間とともに希望をつなぐ成長・躍動新たな一歩~

今回の大会は、実現したい思いが沢山詰まったスローガンとテーマでした。  
 もう少し課題を整理し絞った方がいいような気もしますが、それだけ私たち中小企業・小規模事業者をとりまく社会的経済的環境は深刻なものとなっている、といえるでしょう。

特に、急激な円安も加わった原材料の急高騰、何もかもが上がる物価高の中で販売価格にストレートに転嫁出来ないジレンマ、インボイスに象徴される税負担拡大への懸念、最低賃金の底上げと働き方改革がすすみ慢性的な人手不足から脱出できるかどうかの不安感、などなど。コロナ後は中小企業・小規模事業者には、更に新たな“しわ寄せ”を受けている状態で、むしろ取り組むテーマや課題は増え続けている、と言っても過言ではありません。

会場では、来賓の通産・厚労・農林、各大臣は、お忙しいせいか皆さんビデオメッセージでのご参加でした。「現場からの切実な声は、皆さん(協同組合や中央会)がぜひ聞き取り、吸い上げて私どもに聞かせ欲しい」とは発言されたものの、何をどうするかとは、一言も聞かれなかったのは残念でした。

そのような来賓の皆さんのご挨拶を聴きながら、何かモヤモヤした気持ちで大会が終わりましたが、会場を出たあとの秋晴れの仙台城公園。爽やかな風が吹く心地よさに救われて気分も一新、どこからともなく闘志が湧いてきたような気がした、東北・仙台の一日でした。

ホームページ: <http://jasmeq.com/>  
 メールアドレス: [m.sakamoto@jasmeq.com](mailto:m.sakamoto@jasmeq.com)  
 TEL: 03-6205-6677 FAX: 03-6457-6759



田中

